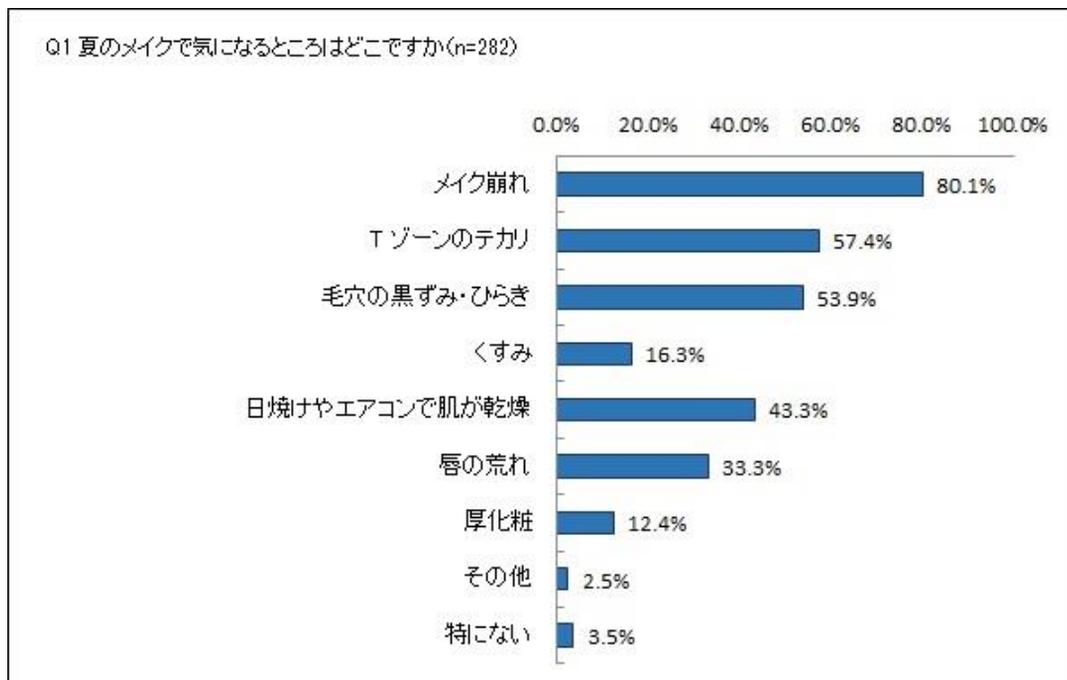


～約8割の女性がメイク崩れを不安視?!～ クオレが「メイク崩れ」に関するアンケート調査結果を発表!

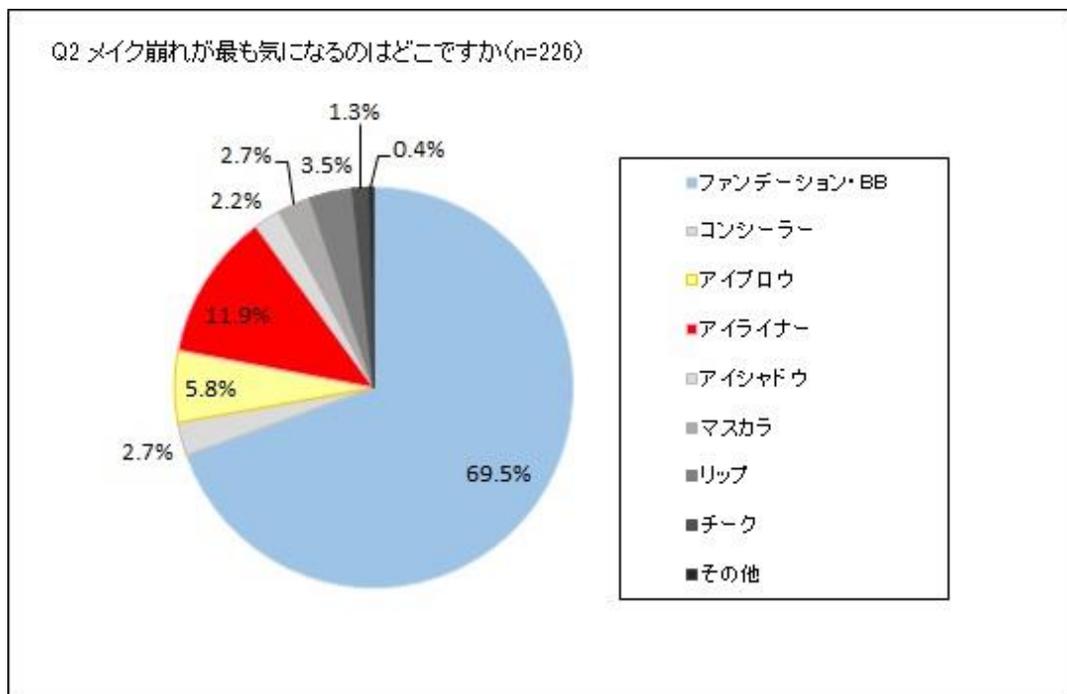
クオレ株式会社(所在地:大阪府吹田市、社長:木下英司)は、女性はいつでもきれいを維持したい、しかし夏場の汗をかく季節にはメイク崩れは避けて通れないということから、20代～30代の女性282名を対象に、「メイク崩れ」に関するアンケート調査を実施いたしました。

■調査結果

「Q1.夏のメイクで気になるところはどこですか?」という質問に対し、1位「メイク崩れ」80.1%、2位「Tゾーンのテカリ」57.4%、3位「毛穴の黒ずみ・ひらき」53.9%、という結果になりました。



さらに「Q2.メイク崩れが最も気になるのはどこですか?」という質問に対し、1位「ファンデーションBB」69.5%に次いで、2位「アイライナー」11.9%、3位「アイブロウ」5.8%、という結果になりました。2・3位にあがりましたアイメイクの崩れは、夏場の汗をかく季節に特に悩みの方も多いのではないでしょうか。



そこで今回は、アイメイク崩れに関する原因と対策について説明します。

■アイメイク崩れの原因

アイメイク崩れの原因のほとんどは、「水分」と「油分」です。「水分」は“汗”や“涙”、「油分」はオイル成分配合の“基礎化粧品”や“肌の皮脂”のことです。その為、「水分」と「油分」対策がメイク崩れを防止する一番の対策となります。しかし、どちらも完全に防ぐことは難しいので、うまく対処する必要があります。

■アイメイク崩れ防止のテクニック

①まぶたはサラサラに！

“基礎化粧品”や“肌の皮脂”などの「油分」が残っていると、アイメイクが、とても滲みやすくなります。アイメイクを始める前に、アイメイクの範囲(まぶたから眉)にパウダーを使用してサラサラに仕上げるのがとても大切です。ポイントとなるのは、パフの角を使い、“上まぶたのキワ”までしっかりとパウダーをのせてください。一方の手の指で、小鼻の脇のあたりを下に軽く引っ張りながらパフを当てると、目頭の細部にもきちんとパウダーを塗布することができます。そして下まぶたにも丁寧にパウダーをのせて、下まぶたにアイシャドウが移るのを防ぎます。

②メイク時に使うパフ・ブラシの汚れは小まめに洗う

いつもきれいなパフ・ブラシを使用することはメイク崩れの予防になります。汚れているパフ・ブラシは、ムラ付きの原因になり、肌に均一にパウダーがのらず部分的に厚塗りになり、メイク崩れを引き起こします。またキメや毛穴に入り込んでお肌トラブルも起こしやすくなりますので、清潔に保つことが大切です。

<調査概要>

調査主体：クオレ株式会社

調査内容：化粧に関するアンケート

調査地域：全国

調査対象者：20歳から39歳の女性

調査方法：インターネット調査

調査期間：2016年6月6日

有効回答数：282件